



www.motherskiss.org

瞬時に広がる、新型インフルエンザ。
現在の投棄システムでは、感染爆発は避けられません。

MOTHER'S KISS VS H5N1

非常時に大多数の人々へ
予防処置を施す圧倒的なスピード。
マザーズキスは、今、最もリアルな対策です。

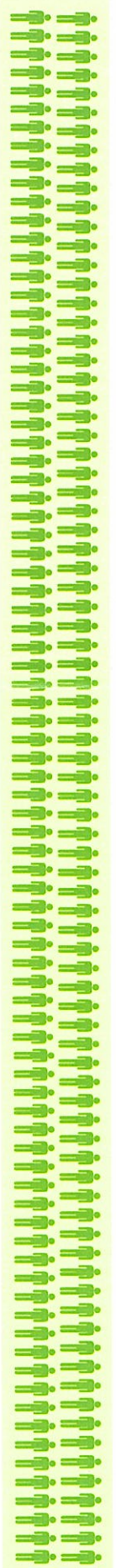
アジア、東南アジア地域における鳥インフルエンザ(H5N1型ウイルス)
感染 348人 死亡 216人 死亡率 62%以上

2008年1月現在



医師による診断、
処方箋、
医師・看護師による施注

従来の
注射システム
高度医療施設集中型、
医療専門スタッフ依存型



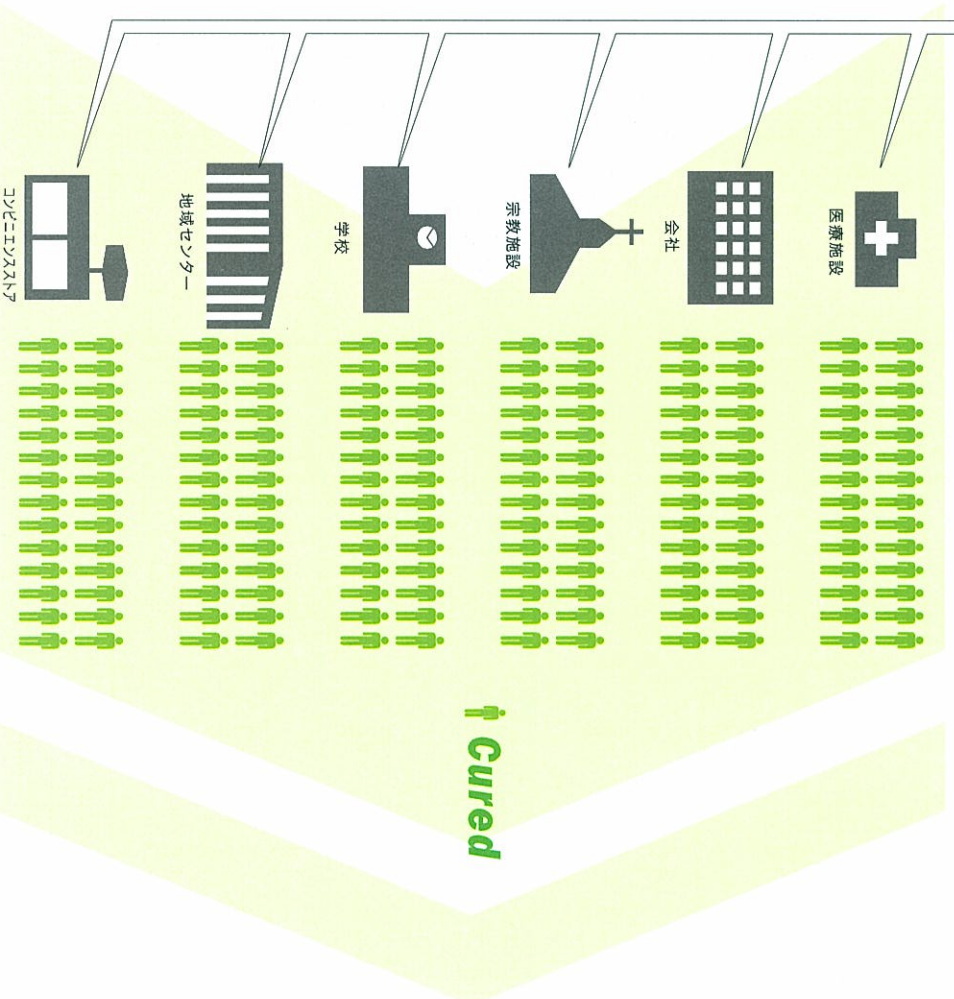
↑ Cured

リスク

投薬ミス、針刺し事故、院内感染、医療スタッフの不足、
施設収容力の限界、医療機器の不備(治療機器)、
医療設備の不備(隔離病棟等)、高度医療施設への患者の移動

予め訓練を受けた
民間人による施注

リスク
施設への患者の移動



↑ 1時間 ↓

168時間

パンデミック対策は、初期封じ込めが大原則。
高度医療施設、医療スタッフ依存型の投薬システムでは、間に合いません。

100万人に対する感染予防措置

従来の注射システム	マザーズキス無針注射システム
100人の医師 = 168時間	100人に1つのインジェクター = 1時間 100人/1セットのマザーズキス無針注射システム 計10,000セットが稼働
高度医療施設集中型、医療専門スタッフ依存型	地域施設分散型、民間人登用型

Mother's Kiss Needle-Free Injection

マザーズキス無針注射の特性

1. 患者1人単位のアンブリングカートリッジによる衛生的な皮下注射を実現
2. 薬調作業の簡素化による異物混入、汚染リスクの軽減
3. 薬液名、分量の印字管理による医療過誤リスクの軽減
4. 緊急医療におけるスピーディな対応力
5. 医療過誤ストレスの軽減化による作業性の向上



必要な人に、スピーディーに必要な薬を!!

